

# JAAC だより

## ～ 日本の新卒者採用事情（前編②）～

### — 「3年4割」の離職の実態 —

前号において、財団法人社会経済生産性本部が発表した今年度の新入社員タイプは「エコバッグ型」である、というお話をしました。私は、今の世相を反映した見事なまでの命名だと思いました。皆さんの中にも、『なるほど・・・』とうなずかれた方も多いのではないでしょうか。このように、社会の目、企業目の観点から新卒者をどのように見ているのかを知ることも、これから皆さんが就職活動を行う上でとても大切なことなのです。今回は、新卒者の就職後の状況と動向についての実態から、「就職とは・・・」と言うことについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

最初から厳しい現実を投げつけるわけではありませんが、これから就職活動をする皆さんには是非とも認識しておいていただきたいことがあります。それは、「離職率」です。厚生労働省が昨年（2008年）調査した新入社員の離職率というデータによると、大卒者が就職後3年以内に最初の就職先から退職する率は37%に及ぶと言われています。これを就職後の経過年数で見ると、就職後1年以内での離職率は約15%、1年以上2年以内では約12%、そして、2年以上3年以内で約10%が離職しています。さらに、高卒者の離職率においては大卒者よりも高く、3年で実に50%に達すると言われています。大卒者においては大学時代から一生懸命に就職活動を行い、せっかく就職できたのに何故約4割もの人たちが就職後3年以内で退職してしまうのでしょうか。その主な理由を挙げながら、検証してみましょう。

#### 〔退職の理由とその検証〕

- ① 仕事が自分に合わない・つまらない： この理由の背景には自分が望んでいた部署への配属が叶わなかったり、自分に任された仕事が単調で生産性を感じない、などが挙げられているようです。大学で学んだ専攻とは全く関係ない部署に配属されることも良くあることです。また、与えられた仕事に不満を持ち続けると、やる気を失くし、全ての物ごとに悲観的になりやすくなり、やがて、仕事に対する不満を会社のせいにする傾向があるようです。「就職」とは、会社に入ることであり、自分が望む部署に入ることではないことを改めて実感しますね。
- ② 人間関係がうまくいかない： 一般的な職場では自分と同年代の人から自分の親とほぼ同じ世代の人まで、初めて出会う幅広い年齢層の人たちが一緒に仕事をしています。また、当然のことながらそこには職位職掌上の上下関係が存在します。このような環境の中で人間関係をうまく築いていくことは容易ではありません。場合によっては、個人の性格上の問題から他の社員とトラブルを起こし、良好な人間関係を築けないケースもあるでしょう。「就職」には順応性と、回りの人たちとうまく付き合う協調性も必要だと思われます。
- ③ 会社に将来性がない： 上記の①と②の理由から、会社内に自分の居場所を見出すことができず、自分本位の偏った考え方によって先輩・同僚社員を蔑んだりして、会社の将来像を自分で勝手に描いてしまうことがあるようです。また、自分が勤める会社のネームバリューや業界内での位置づけ、会社の業績などへの不満や不安、不信を感じ、さらには就職後に知り得た会社の内部情報などから会社の将来性を疑問視する思いを抱くこともあるようです。いずれの要因の場合も、退職理由として「思っていた会社と違って、将来性を感じない」などが挙げられています。その会社の将来性を見込んで就職したはずなのに、いつの間にかそのことが忘れ去られてしまっているようです。

改めて言うまでもなく、離職の要因は決して辞めていく若年社員だけに非があるわけではありません。むしろ、若年社員の離職を防ぐことができない職場の上長や先輩社員の責任が大きいと言われています。また、現代の若者たちの就職に対する価値観が変わり、若年社員の中には会社をスキルやキャリアをアップする場と割り切って考える人たちが増えていることも早期離職の一因とされています。入社3年を超えると離職率は大きく低下すると実証されていることから、企業側は若年社員の定着率を上げるための様々な試みとして、職場の上長や先輩社員ら、そして、新入社員の双方への社内研修などを実施しています。

このように、「就職」にはとても厳しい現実が付きまといまいます。しかしながら、皆さんにはこの現実を悲観的に捉えるのではなく、冷静に、且つ、真摯に受け止めていただきたいのです。そして、このような現実があるからこそ、自分がこのような立場に陥らないようにするための心構えと準備がとても重要だということを認識していただきたいのです。次号においては、今後の就職活動を進める上での心構えや就職の準備などについて、一緒に考えてまいりましょう。（カリフォルニア事務局 照井）

## カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：照井)

**【新型インフルエンザ】**アメリカでも新型インフルエンザの報道がされていますが、日本ほど大きくは取り上げられていないように思います。アメリカでは「Swine Flu」とか「Pig Flu」と言われていて、いずれも「豚インフルエンザ」という意味です。この度の新型インフルエンザはメキシコで発生したことから、メキシコとの国境を有するカリフォルニア州南部では特にその影響が心配されていました。ここアーバインからは車で南へ2時間半ほど行けば、そこはもうメキシコ国境です。アメリカ国内ではメキシコ系住民の間で多くの感染者が出ていますが、アジア系、アフリカ系、白人系の人たちには感染者がほとんど出ていません。しかしながら、既に死者も出ていますので、感染予防に努めることが大切です。

**【また大規模な山火事がありました】**今月4日に、ロサンゼルス市の北西部に位置し、美しい海岸沿いの町として知られるサンタバーバラ近郊で大規模な山火事が発生しました。5月15日現在、未だ燃え続けていて鎮火には至っていません。火災の原因についても現在調査中です。現在までに3,500エーカー以上を焼き尽くし、75世帯が焼失しました。さらに、3,500世帯以上に延焼の危険があると予想され、既に避難した周辺住民の数も3万人を超えました。今回の山火事は、強い季節風にあおられて人々が住んでいない山岳地帯まで拡大し、消火作業が追いついていない状況です。この消化活動にあたった消防士11名が負傷しました。カリフォルニアの気候は地中海性気候と同じで、湿度が低く、空気が乾燥している上に気温が高くなることから、自然発火による山火事が多発します。何とか早く鎮火してほしいものです。

**【空港に不況の影響が現れています】**アーバインのジョン・ウェイン空港の4月の利用客数が、昨年の同月期（去年の4月）に比べて6.8%減少していたことが発表されました。この空港の主な利用客はアーバインでの商用客と近郊のリゾート地を訪れる観光客です。アーバインには多くの企業が集まっていますし、また、近郊にはディズニールランドや海岸沿いに広がる高級リゾート地があります。昨年から続く経済不況の影響で観光客が減少し、同様に経済活動の低迷が商用目的で訪れるビジネスマンの数を減らしているものと思われます。アーバインを含む近郊の町では、飲食店や土産物店の売り上げも落ち込んでいるようです。

## ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

**【活動的な人生はより良い人生をもたらす】**アメリカでの留学経験を真に有意義なものにするには、ただ授業にまじめに出ているだけではなく、素晴らしい友人ネットワークを築くことが大切です。また、JAAC ミズーリ生が好んでするキャンパス内でのアルバイトもその方法の一つです。このアルバイトは合法で、就労時間が週に20時間と制限されますが、いくらかの臨時収入も得られます。教室内では決して体験できないことをアメリカ人学生や他の留学生と共に経験できます。また、希望者が多い仕事の一つに、学寮内でのコミュニティー・アドバイザーという仕事があり、近年、3人のJAAC生が経験しました。他にも、専攻科目の学術発表会への参加や、大学内の団体活動への参加など、ボランティア活動を通じてアメリカ生活を充実させる方法があります。今までもJAAC ミズーリ生は、「ハビタット・フォー・ヒューマニティー(困っている人々に家や住宅を建てて供給する世界的NGO団体)」による建築現場での仕事や、動物保護施設での動物の世話、そして、リサイクル運動としてセントルイスのブッシュ・スタジアムでのプラスチック容器回収作業のボランティア活動に参加してきました。先月には、ニューヨークで行われたスポーツ・マネージメント学専攻学生による学術発表会にJAAC生一人が参加してきました。また、学内学生対抗スポーツへの参加や、その他の様々な団体にも所属して活動しています。その内の何人かは、成績優秀者が集う「オーナーズ・ソサエティー」にも入っています。これらの活動はアメリカでの生活を充実させるだけではなく、転校や編入、大学院への進学、さらには卒業後の企業実務体験などを申請する際の重要な体験と資格になります。成績が良いだけでは不十分です。実際のところ、名門校や有名企業は単に勉強しただけの学生には魅力を感じず、いかに幅広い才能を持ち合わせ、調和の取れた人間であるかという証が欲しいのです。このことは、大学や企業への申請書に「就労経験」、「社会活動」、「成績優秀者の会：オーナーズ・ソサエティー」などの記述欄が設けられていることから明らかです。これらの記述欄に何かを書き添えることは、申請者にチャンスが与えられることです。一言で言えば、活動的な人生は、より人生を楽しめるものとなります。ですから、学生たちはアルバイトや様々な活動を通して、二度の成功をおさめることができるのです。

## — 新型インフルエンザにおける注意喚起とご協力をお願い —

アメリカ国内においては、日本ほど大きく報道されていないようですが、**新型インフルエンザの感染は確実に拡大しています。**日ごろから体調管理に努めて、何らかの体調異変を感じた際には速やかに医療機関での診療と治療処置を受けるようにしてください。この新型インフルエンザの症状は、「急な発熱」、「頭痛」、「せき」、「痰」、「身体の痛みやだるさ」、「下痢」、「嘔吐」、「食欲不振」といった一般的な風邪の症状に良く似ていると言われています。症状の出方には個人差があると思いますが、これらの内でいずれかの症状を感じた際には、早急に適切な処置を取ってください。

また、インターネット等により日本の感染状況の情報を得るように心がけてください。特に、今月(5月)以降の夏休みを利用して帰省する皆さんは、事前に日本の保護者の方々と相談の上、帰国の是非や日程等を決めてください。なお、夏休みに帰省される皆さんは、事前に帰国の日程及び利用航空機便名をJAAC カウンセラー、又は、JAAC 日本事務局にお知らせいただけますよう、ご協力をお願いいたします。

## Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・？

### ～ 野球の帽子 (Baseball Cap) ～

私が小さいころは、自分が好きなプロ野球チーム (巨人) の帽子を得意げに被りながら近所の友達と遊んでいましたが、今は、アメリカ・メジャーリーグの帽子を被っている子供達の姿を多く見かけます。ところで、なぜ野球をする時には帽子をかぶるのでしょうか。これは私にとって長年の謎だったんです。そこで、私なりに調べてみました。事の起こりは、アメリカの南北戦争 (The Civil War) 当時まで遡ります。当時の北軍兵士が休息の時間に野球をして楽しんでいた際、軍服と軍帽を着用したまま野球をしていたことに端を発するそうです。その後、野球のユニフォームの一部として帽子を被ることが正式に定められて、今日に至っているとされています。確かに、野球は元々屋外スポーツでした。帽子のつばは日差し避けにもなるし、多少の雨は帽子で防げます。機能的にも帽子を被ることは理にかなっていますね。でも、同じ屋外競技でもサッカーやラグビーでは帽子を被りませんね。不思議だなあ。これも調べてみようかな・・・。

# Help Line

## FAQ

「携帯電話を買い換えたいのですが・・・。」

**A:** 日本と同様に、アメリカの携帯電話も次々と新たな機能を持った新しいモデルが出てきますね。携帯電話の利用頻度や使用目的は個人差があるものですから、一概に「これが良い・・・」とは言えませんが、最近の JAAC 生の間では簡単なメールで連絡を取り合う頻度が増えているようです。携帯電話を買い換える際の留意点は、買い替え時に違約金が発生するかどうかを確認することが大事です。最初に購入した時から1年間は同じモデルを使用しなくてはならない・・・等々の契約事項があると思いますので、それを改めて確認してください。アメリカの携帯電話の料金システムは日本のものと良く似ていて、利用頻度によって料金体系も異なります。また、JAAC 生の皆さんは日本へ電話をかけることも多いと思いますので、国際通話時の料金も、どのプランなら得なのかを良く検討してください。

**【編集後記】** ●新卒者が就職した後、3年以内に約4割近くが離職する現実には改めて驚きを感じる。不況で失業者が増加している状況では、この離職率も少しは減るのだろうか▼新型インフルエンザの感染者が日本でも確認されたという報道の後、急激にその数が増えた。いわゆる“水際対策”として空港で海外から帰国した者たちの検疫行い、なんとか日本国内への感染拡大を防ごうとしてきたが、関西の高校生を中心にもものすごい勢いで感染が広がっている。何か効果的な予防処置はあるのだろうか■また今年もカリフォルニア州で大規模な山火事が起きた。まだ出火の原因は調査中だが、放火だけは許せない。家屋を失った多くの人々や、消化活動で負傷した消防士の方々に心からお見舞いを申し上げたい▲アメリカ国内の各都市や観光地において不況の影響が如実に現れ始めた。ホテルの稼働率や飲食店の利用率などに比較的大きな影響が見られるようだ。アーバインでも空港利用客の数が大きく減少している。アメリカの象徴とも言うべき3大自動車メーカーの立て直し策がはっきりしないと、今後の経済の行方もわからない。色々な意味で期待を背負っているオバマ政権のお手並みを拝見しよう◆ミズーリ通信の中でライマンが本当に良いアドバイスをしてくれたと思う。留学というのは単に勉強だけしていれば良いものではないことを皆さんに知っていただきたい。様々な社会体験と人的交流を通じて、自らの人間形成をする時期でもあるのだから。皆さん、有意義な留学生活を送ってください。(照井)

## Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲**新型インフルエンザにおける注意喚起：** 何らかの体調不良を感じたら、直ぐに JAAC カウンセラーに相談し、医療機関等での適切な治療と処置を受けるようにしてください。

▼**夏休みに帰省する皆さんへ：** ①航空券の手配は済みましたか？ 特にアメリカ国内での乗り継ぎ便を利用する皆さんは十分な余裕をもって事前に予約をされることをお勧めします。②また、現在、日本の成田空港や関西国際空港、中部国際空港などの各空港では、海外からの帰国者に対する検疫検査を強化しています。日本の空港到着後に、飛行機を降りる前に機内での検疫検査や体調に関する質問書等への記入が実施されています。空港到着後、検疫・入国及び税関審査等には通常よりも長い時間を費やすことが予想されますので、国内の乗り継ぎ便やバス等への乗り換えについては十分な時間をもって行くことをお勧めします。③なお、帰国に際しては、インターネットや保護者との連絡を通じて、最新の日本国内における新型インフルエンザの感染状況についての情報を得るようにしてください。また、必要に応じて空港到着後に予防マスクを購入し、感染の予防をされることをお勧めします。

■**ジョブフェアのご案内：** “ロサンゼルスサマージョブフェア 2009” が5月23日 (土)・24日 (日) に開催されます。詳しくは、<http://www.jobfair.jp/jp/> をご参照ください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：[t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ◎カリフォルニア担当：照井 [k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)